

新型コロナウイルス感染拡大／各単組のとりくみNO.13

2020年6月18日 大生連事務局

連日のご奮闘に心から敬意を表します。相談では、給付金（持続化給付金・大阪府休業要請支援金等）の手続きが相次ぎ、同時に生活保護の相談が増えています。リーマンショックのときは違い、若年層から高齢者が生活できずに会事務所に相談に訪れています。10万円の給付金を支給されても、派遣労働者や低年金で生活する高齢者は、それでは追いつかない大変な状況になっています。

【大阪市内】

港

①**生活保護・浪速から港に住む弟のことで電話**：港の弟が盲腸になった。しかし弟は金がないので1000円だけおいて病院を抜け出してきた。本人に連絡し、生活保護を申請。入院して手術を受ける。

②**生活保護・母子世帯(2人)**：息子が一浪後、浪人中は家賃が1人分に減額されていた。息子は市大に合格したが、家賃は1人分のままだったので、お母さんと一緒に抗議、2人分の住宅扶助が出るようになった。

※専門学生・大学生は世帯分離され、同居でも生活扶助費は1人分しか出ないが、住宅扶助費は出る。

浪速

①**宣伝**：ピラ200枚をまいた。

②**西成からの生活保護利用者からの相談**＝タコ部屋みたいなのところに入れられている。出たいが、何とかならないか。法的対応も含めて進めていく。

平野

①**宣伝**：2万5000枚まいた。反応はまだない、これからだろう。

②**生活保護・70代女性・単身**：喫茶店をしていたが、コロナで客が来ず、廃業、年金は月2万円。すぐに生活保護を申請。

③**生活保護・20代男性・単身**：会員の友人、東京で会社勤めをしていたが、解雇。生活保護申請。

④**生活保護・10代女性・単身**：衛星都市に住んでいた、家族のDVで家を飛び出す、パート収入10万円、生活保護を申請（生活扶助+住宅扶助、勤労控除で生活保護基準以下）。

⑤**生活保護・70代男性・単身**：露天商、コロナで仕事が途絶える。無年金。生活保護申請。

北

①**給付金**：持続化給付金、府の休業補償給付金の手続きに連日のように相談。スマホで申請を援助。

②**生活保護・60代夫婦**：夫無職、妻はコロナで雇い止め、収入がなくなった。月7万円の家賃を滞納。生活保護で対応する予定。

西淀川

①**10万円の給付金の対応**：「誰1人取り残されることのない10万円の給付金の受け取り」をめざして、5月30日に8000枚のピラを28人でまいた。6月5日まで、事務所に105件の問い合わせがあった（このうち、生活保護利用者11人からの相談）。

②**生活保護・65歳女性・単身**：勤め先の会社がコロナの影響で売り上げ大幅減。勤務時間が減らされ、手取りで6万円になった。社会保険も雇用保険も解除。糖尿病。生きていけないと訴える。国保料減免を行うが、生活保護も視野において相談する。

③**生活保護・60代後半のホームレス**:会員から高架下で男性が寝ていると通報有がり、役員複数で対応、空き缶拾いをしながら、なんとか生きているという。生活保護の事を話す。年なので、どこかに落ち着きたい要望。家さがしと生活保護で対応していく。

【府下衛星都市】

豊中

- ①**給付金**:持続化給付金の手続き相談で追われている。
- ②**生活保護・70歳女性**:夫のDVで豊中に逃れてきた。年金は5万円。貯えなし。生活保護の申請。
- ③**宣伝**:府営住宅に3000枚のピラをまいた。

岸和田

給付金:10万円の特別給付金、生活保護利用者からの相談が相次ぐ。生活保護利用中の80代の女性(単身):「まちがえたらアカンので」と来所、申請書を作る。男性の生活保護利用者:「冷蔵庫がそろそろ寿命かな」と給付金が入ったら購入を検討。

八尾

- ①**各種減免**:市民税、国保料、固定資産税等の減免などの相談会を19日まで、事務所でおこなう。
- ②**給付金**:持続化給付金、大阪府の休業要請支援金の相談が相次ぐ、八尾市独自の「事業者サポート給付金」(コロナの影響で売り上げが10%~15%の減収した場合)。23日に相談会をする。
- ③**介護保険**:6月末に本決定。コロナ減免は免除もある。活用していく。
- ④**生活保護・70代女性・単身**=夫が死亡し、生命保険金が入ったが、葬儀費等に費やし、手持ち金がなくなった。生活保護を申請。
- ④**生活保護・70代女性・単身**:日本海の温泉で働いていた、コロナの関係で失業、年金7万円。生活保護を申請。

堺

- ①**持続化給付金**:手続きの援助で追われている。
- ②**生活保護・61歳・男性・母親と同居**:トラック運転手、大型免許を持っているが、現在は運転助手の役割。非正規、コロナで失業、6月末で部屋の退去を迫られる。母親入院中、若干の貯蓄在り、会社側は7月もその部屋にいるなら「家賃を払ってくれ」と言われた。預貯金が少なくなったら、転居も含めて生活保護を申請する。
- ③**生活保護・40代後半の男性・単身**:刑務所出所、仕事がなくホームレスに、友人が生健会に連絡、公園に向かう、生活保護申請、家も確保。
- ④**生活保護・60代半ばの男性・単身**:コロナで解雇、年金7万円、若干の貯えがある。生活保護の申請を予定、それまでコロナ関係の国保料と介護保険料の免除申請を行う。

富田林

- ①**給付金**:持続化給付金の手続きの相談が相次いでいる。
- ②**相談会**:11日に相談会を事務所で行った。8人が参加。

羽曳野・藤井寺

- ①**給付金**:持続化給付金等の相談は先週15件あった。
- ②**生活保護・40代後半の派遣の女性**:賃金は3月12万円、4月8万円、5月5万円、6月は1万8000円まで減った。緊急小口資金の相談だったが、仕事が確保できるまで生活保護の利用を勧めた。